

海から生まれ、海と共に育ってきたまち

岩内 iwanai

IWANAI Towns Guide



岩内町町勢要覧





健やかなまちづくり



岩内町長
木村 清彦

私たちの町、岩内町は北海道西海岸にある積丹半島西側の付け根に位置し、紺碧の日本海とニセコ連峰岩内岳を望む、四季折々の豊かな自然に恵まれた歴史ある町です。

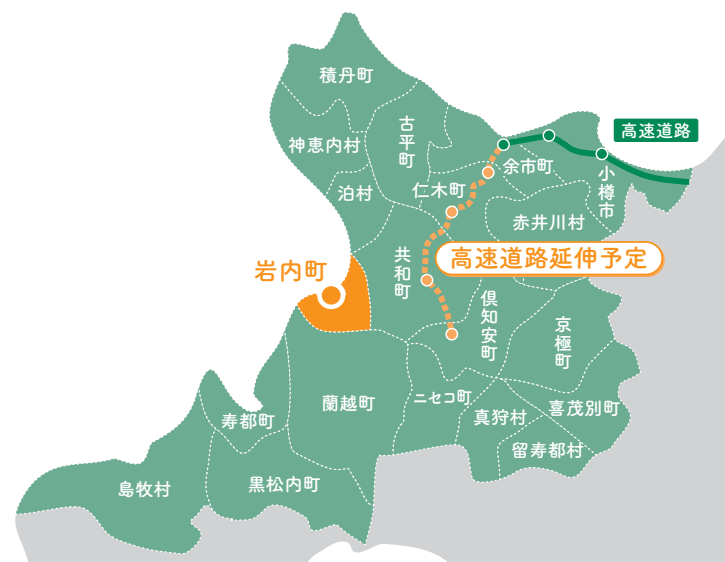
宝暦元年（1751年）より、北海道内でも有数のにしんの千石場所として隆盛を極めた当町は、海からの恩恵を受けながら発展して参りました。

これまで、にしん漁の衰退、200海里問題など漁業の構造的不振や昭和29年の大火など、町そのものの存亡に関わる大きな苦難にも遭遇しましたが、日本海の荒波と吹き荒れる北風に耐えて生まれた「岩内魂」とでも表現するしかない、先人たちの強い意志により、幾多の困難を乗り越え、令和2年に町制施行120年を迎えました。

現在、私たちを取り巻く情勢は、人口減少と少子高齢化の進展など、様々な課題が山積しておりますが、近年には北海道横断自動車道共和余市間の高速道路供用開始や北海道新幹線延伸による倶知安駅開業が予定されており、将来的な人の流れの変化を見据えた、地方創生に向けた取り組みが非常に重要となります。

地域を支える人材の育成、医療・福祉・介護の充実、経済力の強化など、安全・安心に住み続けられる「健やかなまちづくり」を目指し、この町を引き継いでいこうと強く感じております。

この要覧から、私たちの町・岩内町の様子を知っていただき、今後とも一層のご支援、ご協力をいただければ幸いに存じます。



《人口》
11,658人
(男5,505人／女6,153人)

《世帯》
6,535世帯
※令和3年12月末現在

《気候》
道内では比較的、温暖な気候で、夏も涼しく過ごしやすい

《位置地勢》
岩内町は、北海道の西部、積丹半島の付け根に位置し、北は日本海に面し、南にはニセコ連峰岩内岳を望む、面積70.60km²の町です。
ニセコ積丹小樽海岸国定公園に指定されています。

《主な施設》
特定地域振興重要港湾・二次救急指定病院・各福祉施設・各文化施設など

Features
まちの特色
地域ブランド P03
岩内海洋深層水 P05
漁業・水産加工業 P07
企業誘致・産業 P09

Tourism
観光
観光 P11

Living with people
人とくらし
医療・福祉・介護 P13
教育・文化 P15
地域・生活 P17

History
歴史
歴史年表 P19

まちの特色

観光

人とくらし

歴史



iwanai brand

地域ブランド

星降る海を望む絶景、
歴史情緒をたたえた街並み、
人々のあたたかな心

この岩内の地には、自然、歴史・文化、食など魅力ある資源がたくさんあります。地元農業者や地域おこし協力隊と連携しながら、ホップやホワイトアスパラガス、日本酒を中心に、ストーリー性を有した付加価値の高い地域ブランド製品の開発を目指しています。



岩内町マスコットキャラクター たら丸

「ねじりハチマキ」「黒い長靴」
「タラコ唇」が特徴のスケウダラを
モチーフにしたキャラクター



伝統の味



寿司

港町自慢の歴史ある寿司屋が営業しています。近海で獲れた新鮮な魚介を、是非岩内の地で味わってください。



水産加工品

「たらこ」や「みがきにしん」、海洋深層水を使用した「塩数の子」など、長年培われた伝統の技術による水産加工品は岩内自慢の一つです。



たちかま

新鮮なスケウダラの白子を使った、弾力のある食感と白子の濃厚な味わいが特徴的な冬季限定のかまぼこです。

新たな試み



ホップ

北海道のビール醸造のきっかけとなった野生ホップが初めて発見されたのが、岩内でした。発見された1871年は、当て字でイワナイ年と読め、ホップとの縁を感じます。この歴史をブランドとして、ホップの栽培を行い岩内地ビールの開発に取り組んでいます。



ホワイトアスパラガス

極寒の北海道でも栽培できる作物を研究した下田喜久三氏が、1921年に日本で初めて、岩内でアスパラガス栽培に成功しました。令和4年春より、発祥の地のひと味違う魅力あるホワイトアスパラガスの栽培に、地域おこし協力隊が取り組んでいます。



日本酒

明治期には6つもの酒蔵があったという岩内の、豊かな自然を活かした日本酒の復活を目指しています。岩内で栽培した酒造好適米「彗星」にそれぞれ「山」の水(岩内岳の伏流水)と「海」の水(岩内海洋深層水)を仕込み水として使用した日本酒の試験製造に取り組んでいます。

ふるさと納税

ふるさと納税制度により岩内町を応援していただいた皆さまへ、お礼の品を心を込めてお贈りいたします。
岩内沖で水揚げされた海産物のほか、農産物、乳製品、地元の手作りの品、ゆっくりと岩内に滞在し自然や歴史を楽しむ宿泊券など魅力あふれるお礼の品をご用意しております。



いただいたご寄附は、子どもや高齢者のための支援や、地域のイベント、特産品の開発など様々な事業に活用させていただきます。岩内町出身の方、岩内町を応援したいという方のエールを心からお待ちしております。

岩内町ふるさと納税



岩内海洋深層水

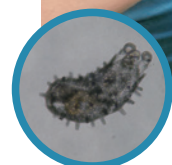


深海からの **豊かな資源** とともに

岩内町では、平成17年より海洋深層水の本格取水を開始しています。
他にはない海洋深層水の特性を活かし、地場産品の付加価値化や
収益性の高い商品の開発などを進め、地域産業の活性化を図っています。

01 海洋深層水とは

一般的に水深200mよりも深いところにある海水のことをいい、普段私たちが海で触れる海水とは全く異なるものです。海洋深層水には、富栄養性・清浄性・低温性などの優れた特性があり、取水している地域は、全国でわずか16か所、北海道内では岩内を含め3か所のみとなっています。



ナマコの種苗生産

02 各産業での取り組み

海洋深層水の特性を活かし、各分野での試験や開発を進めています。

【漁業】

ナマコやサーモンなど水産資源の増大や発掘に向けて

【農業】

土壌や野菜などの品質向上に向けて

【商品開発】

水産加工品や酒・菓子などの食品のほか、化粧品の原料に



03

地場産品開発への利用

令和3年度より海洋深層水を用いたサーモン養殖・蓄産試験に着手しています。海洋深層水での生育効果や、出荷時期の調整の可能性などを検証し、新しい地場産品となるよう開発を進めています。

04 海洋深層水の普及



毎日の生活に海洋深層水を取り入れてもらえるよう、料理レシピを紹介したり、海洋深層水の無料分水や海洋深層水商品を販売するイベント「深層水まつり」も開催しています。



05 地場産業サポートセンター

地場産業サポートセンターでは、主に海洋深層水の分水（販売）、食品加工等の研究開発・食品の分析、水産増養殖試験を行っています。原水はもちろん、高ミネラル塩水、脱塩水も分水していますので、一般家庭でも用途に合わせて気軽に海洋深層水を購入することができます。

漁業・水産加工業



海の恵みとともに

岩内町は、明治期のにしん漁によって栄えた町です。

漁業・水産加工業を生業として発展してきた誇りと、潮風の香りをいたるところで感じることができます。

これまで受けてきた海の恩恵を大切に守り育てることで、未来へと「海の恵み」を伝えていきます。



01 岩内の魚介



サケ・ホッケ・イカ・スケトウダラなど、季節によって様々な魚介類が収穫されます。

日本海の荒波に育まれた新鮮な魚介類は、道内はもちろん道外にも出荷されています。



02

サケを育てる

町内のふ化場で親魚を捕獲し、漁業者により採卵作業を行います。ふ化した稚魚は、町内の野束川へ放流しています。

03

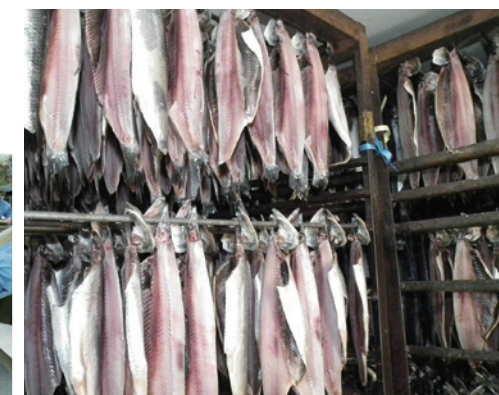
にしん種苗放流

岩内町は、にしん資源の復活を目指して組織された「後志南部地域ニシン資源対策協議会」の事務局として、稚魚の中間育成を経て放流しています。



04 水産加工業

漁業の歴史とともに長年培われた水産加工技術は岩内の自慢の一つです。抜群の鮮度と加工技術を誇る「たらこ」、「みがきにしん」、伝統の加工技術と岩内の海洋深層水を使用した「塩数の子」など、すべてが最高級の逸品です。



企業誘致・産業



風土を活かした経済とともに

各企業・産業への支援を積極的に行うとともに、
近年の企業動向を踏まえた支援制度の拡充など企業誘致を推進しています。
岩内の気候や地勢の強みを活かし、活力ある地域経済活動を目指します。



01 企業立地の推進や支援

岩内ならではの地域資源や各種支援制度を強みに、工場などの誘致や、誘致企業へのフォローアップを行っています。特定地域振興重要港湾に指定の岩内港は、-8.0m岸壁および-7.5m岸壁(新港東埠頭)を有しており、今後、余市町から延伸予定の高速道路ICが隣接自治体に設置予定のため、陸上・海上輸送の拠点としての活用も期待できます。



02 農業

主食用水稻の栽培を中心に、町内の農業者から供給される牧草を利用した酪農も行われています。

04 飲食業



03 商業

商店街活性化のため、趣向を凝らした限定商品などを販売したり、地元の特産品や手作り品などを販売する「あきんど市」や「軽トラック市」など、イベントを開催しています。また、空き店舗を活用し新たに事業を始める方に支援を行っています。



恵まれた漁業・農業・水産加工業から生まれた食材を使った岩内のグルメは絶品ぞろいです。また、明治期の漁師町の賑わいを継いで多くの「スナック」があるのも岩内ならではの魅力です。

観光



四季折々の豊かな自然・景観とともに

北に日本海、南に岩内岳を望む岩内町は、北海道の大自然を一度に味わうことができる最高のロケーションを誇っています。自然を活かした体験はもちろん、歴史ある祭事やイベントもあり、訪れる季節によって新しい発見ができる魅力あふれる岩内町へ是非お越しください。

01

オートキャンプ場マリンビュー

コテージや炊事棟・トイレなどが充実したキャンプ場からは、岩内港や積丹半島が一望でき、夜には「漁り火」と「満点の星空」を楽しめる最高のアウトドア環境です。



02

道の駅 いわない

道路情報・おすすめの観光スポットなどをご案内しているほか、岩内町に関する各種パンフレットや地場産品、「たら丸」グッズなどのお土産品も取り揃えています。

03

岩内岳登山



標高1,086mの岩内岳は、春には高山植物の花々が楽しめます。山頂からは、ニセコ連峰を見渡せます。

04

IWANAI RESORT

ニセコ連峰にありながら、北斜面のゲレンデから日本海と積丹半島の大パノラマを望むことができます。良質なパウダースノーを堪能できるキャットツアーが人気です。



05

円山展望台

岩内の街並みと積丹半島を一望でき、夜景を心ゆくまで楽しめる人気スポットです。岩内の夜景はその美しさから、2018年「日本夜景遺産」に認定されました。



06

いわない温泉



日本海や積丹半島が一望できる露天風呂が魅力です。宿泊はもちろん、日帰り入浴ができる施設もありますので、疲れを癒やし、心も体もリフレッシュしてください。

07

岩内神社例大祭

200年の歴史をもつお祭りで、勇壮な二基の神輿と町無形文化財「赤坂奴」の行列が街中を練り歩きます。特に、二基の御神輿が神社坂を一気に駆け上がる姿は迫力満点です。



雷電海岸 刀掛岩（ニセコ積丹小樽海岸国定公園）

日本夜景遺産認定記念事業「Loveいわない Instagramフォトコンテスト」受賞作品（2021年）

医療・福祉・介護



健康・安心とともに

これからを担う子どもたちから、これまでを築いてきた高齢者まで、岩内に住むすべての人々が、健康で安心してこの町に住み続けられるよう様々な取り組みや施設があります。

01 母子健康サポート

子育て世代が安心して妊娠・出産・育児ができるよう「岩内町母子保健包括支援センター」を開設し、保健師や栄養士によるフォローアップや相談を実施しています。



02 保育サポート



新たな保育所と子育て支援センター 完成予想図

令和5年4月より「新たな保育所」と併設する「子育て支援センター」が利用開始となります。これらの施設と既存の保育所(1所)、放課後帰宅時に保護者不在の小学生を対象とした「学童保育所」(2所)とを併せ、更なる子育て支援体制の拡充を図っていきます。

03 健康増進



町民一人ひとりの健康への関心を高めるため、健康診断やがん検診の案内やフォローアップを積極的に行っています。また「岩内町保健センター」での集団健診や結果説明会を通じて、疾病の早期発見と重症化予防に取り組んでいます。



04

地域医療

24時間365日、救急患者の受け入れを行う基幹病院「岩内協会病院」を中心に、内科・小児科・整形外科・眼科など複数の医療機関があります。

05 介護予防

孤立しがちになる高齢者の交流の機会や高齢者が楽しめるイベントを行うなど、年齢を重ねても安心して生き生きと生活できるまちづくりを行っています。



06

福祉ボランティア

高齢者を対象としたボランティア活動が行われています。高齢者の生きがいづくりや社会参加への支援も行っています。



07 介護関連施設

- ふれ愛の郷(介護老人福祉施設)
常時介護が必要で、自宅では介護が受けられない方のための施設です。
- コミュニティホーム岩内(介護老人保健施設)
入院治療を必要としない方に看護・介護・リハビリテーションを中心とした医療・日常生活のサービスを提供する施設です。
- 七福神恵比寿館(介護付有料老人ホーム)
入居者の生き方を尊重した生活づくりを大切にしている施設です。
- 岩内町デイサービスセンター
居宅要介護者などの入浴・食事など、日常生活動作の維持・回復を図り、在宅で生活するための支援を行う施設です。

08 障がい者・児童福祉関連施設

- すまいるサポート(岩宇地区相談支援センター)
障がいをお持ちの方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、生活や就労に関わる相談をはじめ、サービス利用の調整などの支援事業を行っています。
- チャレンジキッズどんぐり／はみんぐfunいわない
日常生活や集団生活などを支援する児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業を行っています。
- 岩内あけぼの学園
障がい者一人ひとりの特性に合わせた支援を行う施設です。
- 岩内厚生園
様々な理由から両親と暮らすことのできない児童が共に生活する施設です。

教育・文化



環境を活かした教育とともに

文化的な活動やスポーツなどを各種団体が支援し、子どもから高齢者まで皆が生き生きと学び、活動していることがまちの魅力のひとつです。



01 岩内の教育

町立の小中学校のほか、道立高校、私立幼稚園などがあり、地域と連携して長期にわたり子どもたちの教育を支援しています。令和8年度には施設一体型義務教育学校の開校が予定されています。



02 多様性を育む

町立学校では情報教育に対応したタブレット学習や、外国語指導助手によるネイティブな会話や海外の文化に触れる機会を積極的に取り入れています。



03 生涯学習

すべての年代の方が座学から体験・見学、スポーツなどを学ぶ機会と楽しさを提供できるよう様々な講座や企画が年間を通して行われています。



04 スポーツ

老若男女誰もがスポーツを通じて、体力の向上や仲間づくりを図っています。国際パークゴルフ協会公認のパークゴルフ場（36ホール）など、四季折々のスポーツが楽しめる施設も充実しています。



05 文化

小説「生れ出づる悩み」のモデル「木田金次郎」が生まれ育った岩内町は、絵画をはじめとする芸術文化が身近に感じられるまちです。「絵の町いわない」としての取り組みを推進しています。

06 歴史

東京以北最大の「浄土宗 帰厚院の木造大仏」や公園・街角に建つ石碑が、明治期のにしん漁とともに発展した当時のまちの賑わいと歴史を現代にも伝え続けています。



07 施設



●郷土館

岩内町の歴史を伝える貴重な資料だけでなく、当時の岩内の人々の生活の様子を伝える生活道具なども多数展示しています。



●木田金次郎美術館

岩内に生まれ育ち、生涯ふるさとの自然を描き続けた画家・木田金次郎の作品を展示しています。



●荒井記念美術館

パブロ・ピカソのオリジナル版画を展示している個人美術館です。



●絵本館

絵本と子育てに関する本の図書室です。子どもたちと子育て世代の憩いの場になっています。

●岩内地方文化センター

1,008人を収容する大ホールや図書室を有する総合施設です。

●町民体育館

各種スポーツ大会の開催のほか、様々な世代の健康増進やスポーツ活動を推進するため、一般開放も行っています。

●町民プール

水泳大会が行われたり、幼児向け・小学生向けのプールがあったりと、誰もがスイミングを楽しめます。

地域・生活

住みよいまちとともに

岩内に住む人々が充実した毎を送れるよう、生きがいを感じる活動や環境づくりが行われています。
また、岩内を故郷にしようと移り住んでくれる新しい仲間達を支援していきます。



01 地域の活動

「さわやかいわないクリーンナップ運動」や「花いっぱい運動」を実施しています。各種団体・町内会などの協働を通じて、きれいで住みよいまちづくりを推進しています。



02 公共交通

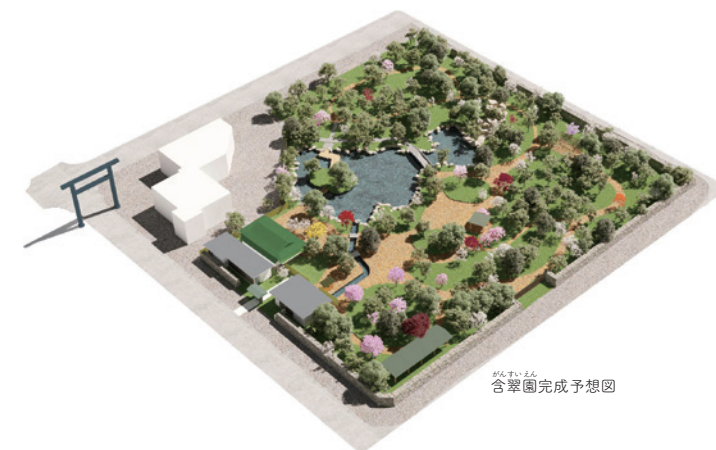
「ノットライン」「乗合タクシー」は町内の主要施設や住宅街などを通年運行しています。誰でも利用でき、生活に欠かせない移動手段として活躍しています。



03 防災



住民参加の防災訓練を実施し、町全体で万が一に備えています。また、小中学生や高齢者向けの防災学校を実施するなど地域における防災意識を高めています。



04 公園

町の中心部にある近隣公園「いわないマリンパーク」や、スポーツ拠点施設としても整備されている「岩内運動公園」、保健保安林としての「森林公園」のほか、風致公園となる含翠園など、憩いの場となる公園の整備を進めています。



05

移住促進

岩内で、新しい人生をスタートさせる移住定住者への支援を積極的に行っています。中古住宅の取得補助や北海道と連携した移住支援金制度に加え、移住定住コーディネーターが移住後の生活をサポートする取り組みを行っています。また、首都圏で行われる移住交流フェアへの参加や、オンライン移住体験ツアーを通じて移住後の生活を具体的に伝えるなど、移住しやすいまちづくりに取り組んでいます。



岩内の歴史



現在の役場庁舎・保健センター完成

1900	1950	2000	2010
1897(明治30)年 1890(明治23)年 1879(明治12)年 1877(明治10)年 1871(明治4)年 1869(明治2)年 1859(安政6)年 1751(宝暦元)年 1900(明治33)年 1902(明治35)年 1905(明治38)年 1906(明治39)年 1907(明治40)年 1912(明治45)年 1912(大正元)年 1921(大正10)年 1922(大正11)年 1924(大正13)年 1935(昭和10)年 1943(昭和18)年 1945(昭和20)年 1949(昭和24)年	1954(昭和29)年 1955(昭和30)年 1958(昭和33)年 1962(昭和37)年 1973(昭和48)年 1975(昭和50)年 1978(昭和53)年 1980(昭和55)年 1985(昭和60)年 1989(平成元)年 1990(平成2)年 1993(平成5)年 1994(平成6)年 1995(平成7)年 1996(平成8)年 1997(平成9)年 1999(平成11)年	2000(平成12)年 2004(平成16)年 2005(平成17)年 2007(平成19)年 2008(平成20)年 2010(平成22)年 2014(平成26)年 2015(平成27)年 2016(平成28)年 2018(平成30)年 2020(令和2)年 2021(令和3)年	2010(平成22)年 2014(平成26)年 2015(平成27)年 2016(平成28)年 2018(平成30)年 2020(令和2)年 2021(令和3)年
郡役所を廃止し、岩内支庁設置 2回目の大火が起き、610余戸が焼ける 岩内古宇郡役所設置 町勢発展し、江差・松前の商人が相次いで移住 トーマス・アンチセルが岩内で野生ホップを発見 蝦夷地が北海道と改称し、岩内の名称確定 最初の大火が起き、80余戸が焼ける(当時、全戸数230余戸) 岩内の始まり	岩内郡漁業協同組合設立 町制施行50周年記念事業開催 米戦闘機と武装油槽船が雷電沖で戦闘。岩内港が銃撃された 町内の字名改正 岩内町「紋章」制定 日本アスパラガス株式会社創立 下田喜久三博士により、日本最初のアスパラガス栽培開始 下田喜久三博士がアスパラガス缶詰試験製造に成功 帰厚院の大仏が完成 国鉄岩内線が開通 にしん刺網船が大時化により、136名の遭難者を出す 岩内漁港修築工事着工 岩内水力電気株式会社が、北海道初の水力発電による電気を点灯 岩内小沢間に馬車鉄道が開通 増田庄吉が岩内沖でスケトウダラ群生息場所を発見 岩内町が一級町村となる。初代町長に梅澤六兵衛が就任	東日本フェリー運航休止 オートキャンプ場「マリンビュー」オープン 「たら丸市場」オープン 商店街活性化に向け「たら丸カード」スタート 岩内町が過疎地域指定 国道・道道の流雪溝が完成 新潟県上越市と姉妹都市提携を結ぶ 木田金次郎美術館がオープン プロサッカーチーム清水エスパルスが岩内町で合宿 たら丸館がオープンし、道の駅に指定 東日本フェリー(岩内直江津)が就航 はまなす国体開催(レスリング・山岳競技) 岩内地方文化センターオープン 町のマスコットキャラクター「たら丸」誕生 国鉄岩内線が廃止 岩内岳国設スキー場が完成 岩内町の花を「はぎ」、町の木を「ななかまど」に決定	消防庁舎、郷土館がリニューアル 家庭系こみの有料化開始、リサイクルセンター本格稼働 介護老人保健施設「コミュニティホーム岩内」開所 地場産業サポートセンターがオープンし、海洋深層水の供給開始 田南部力選手が、アテネオリンピックに出場し銅メダル獲得 岩内町出身の田南部力選手が、レスリングでシドニーオリンピックに出場 青森県深浦町と姉妹都市提携を結ぶ 町制施行100周年記念事業開催



岩内支庁設置



明治末期のにしん漁



明治36年 岩内町役場庁舎



馬車鉄道



北海道初の水力発電



3回目の大火



国鉄岩内線廃止



はまなす国体



町制施行100周年記念事業



平成20年 消防署



日本夜景遺産に認定

議会



開かれた議会を目指して

議会は住民の代表として、町行政の意思を決する機関で、岩内町議会は15人の議員で構成されています。議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）の定例会と必要に応じて開かれる臨時会があります。



委員会

幅広い町の事務を専門的・効率的に審査・調査するため、一定の部門ごとに委員会が設置されています。

常任委員会

常設の委員会で、岩内町議会には三つの委員会があり、議員はいずれか一つの委員会に所属します。

◎総務委員会

経営企画部・出納課・選挙管理委員会・監査委員・固定資産評価審査委員会に関すること。

◎社会文教委員会

健康福祉部・町民生活部・教育委員会に関すること。

◎建設産業委員会

建設経済部・上下水道部・農業委員会に関すること。

議会運営委員会

円滑な議会運営を行うため、議会全般について協議し、意見調整を図ったり、議会制度についての調査などを行います。

特別委員会

必要に応じて、特定の問題の審査や調査を行うために設置される委員会です。現在、原子力発電所問題特別委員会が設置されています。



町章【昭和10年2月16日制定】

外輪5線は5つの輪、すなわち「イワ」を表し、その内側に「内」の字を圖案化し、併せて「岩内」を象徴したもので、5輪は人道五倫を、円は協和を、内の字の直線は積極進取を意味しています。



町の花【はぎ】

【昭和55年10月29日決定／町制施行80周年記念】



町の木【ななかまど】

【昭和55年10月29日決定／町制施行80周年記念】

町の姉妹都市

青森県深浦町

2000年（平成12年7月20日）
姉妹都市提携を結ぶ

新潟県上越市

1995年（平成7年10月22日）
姉妹都市提携を結ぶ

Access

車で

- ・札幌 ▶ 約1時間44分(96.2km)※高速道路使用の場合
- ・小樽 ▶ 約1時間13分(60.5km)
- ・千歳 ▶ 約2時間4分(138km)※高速道路使用の場合
- ・函館 ▶ 約2時間50分(175km)※高速道路使用の場合
- ・ニセコ ▶ 約49分(40.5km)※国道276号使用の場合
- ・ニセコ ▶ 約55分(42.2km)※道道66号使用の場合(ニセコパノラマライン/冬期間通行止め)

高速バスで

- ・札幌(高速いわない号)▶ 約2時間30分 ※北海道中央バス(岩内ターミナル) Tel.0135-62-1284

《高速道路》俱知安まで延伸予定

《北海道新幹線》2030年度、札幌開業予定

岩内町 経営企画部総務課

〒045-8555

北海道岩内郡岩内町字高台134番地1

TEL:0135-62-1011

FAX:0135-62-3465



www.town.iwanai.hokkaido.jp

